

## 株式会社北毛久呂保 - 概要

### 昭和43年創業、老舗こんにゃく屋の次の事業戦略

#### 【会社概要】

こんにゃく生産日本一の群馬県昭和村にあり、農家が食べる素朴な手作りこんにゃくから、こだわりのさしみこんにゃく、湯葉こんにゃく、デザートに使用するこんにゃくなど様々な商品を開発し生産しております。

#### 【現状・課題】

- ・ コロナの影響から、こんにゃくの需要が一時的に減った影響で供給過多になっている。お土産としてのこんにゃく需要も減っている。
- ・ 商品開発力があり、多様な商品生産を行っているが、逆に集中すべき商品戦略が定まっていない。そのため量産体制に踏み切れない。

#### 【変革の方針】

- ・ 現状分析を行い、北毛久呂保の独自の強みや価値を抽出。社会のトレンドと重ね合わせて、集中すべきアクションを検討。また自社だけでなく、社外の人も巻き込みながら、今までにないこんにゃくの可能性を構想するアクションを描いていく。



株式会社北毛久呂保 - 事業・サービス、価値を伝える取り組み。

## 開発力を活かした、こんにやくの新たな可能性づくり



北毛久呂保としての独自価値として「地産地消」「健康的（こんにやく）」「開発力」が挙げられた。

また、社会トレンドとしては、年々酒の消費量の減少や、低糖質や微糖など、健康志向があり、日本国内でのヴィーガン・ベジタリアン消費者は5.4%（約680万人）いることが調べて分かった。

そのため、今後の北毛久呂保としての戦略として、

- ・ 食事制限のある人向けのおやつ
- ・ ヴィーガン向けのおからこんにやく
- ・ 海産物の代替品としてねぎとろこんにやく

などを、地元レストランのシェフやヴィーガンの人と共同開発を進めていくことで、これまでにない、こんにやくの新たな価値を広める商品を生み出していくことを企画。

今後はこれを実践していくべく、こんにやくの価値を伝え、共創パートナーの獲得のため、FOODEX JAPANにも出展を行った。